

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成29年						平成30年															
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~4日	11月 ~11日	11月 ~18日	11月 ~25日	12月 ~2日	12月 ~9日
カンピロバクター	142	87	98	161	109	84	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	28	34	24	23	32	21
病原性大腸菌	206	161	102	112	73	110	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	22	42	29	26	32 (33)	31
腸管出血性大腸菌	1	1	0	2	1	0	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0
サルモネラ	18	29	9	12	16	3	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	0	1	3	1	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	17	24	24	9	12	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	6	8	2	6	4	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	27	16	22	19	15	16	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	5	6	1	6	4	6
腸炎ヒブリオ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
その他	9	11	5	14	3	1	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	0	2	0	1	0 (1)	0
ロタウイルス	1	1	0	0	0	0	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	2	0	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ノロウイルス	8	2	1	3	7	21	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	0	2	3	1	2	4

\* ( ) は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

\*先週の、その他の1件増は、アエロモナスでした。

## 広島県感染症発生動向週報

平成30年第49週(12月3日~12月9日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	6	結核	6			2		3	1	
三類	0	発生なし	0							
四類	3	つつが虫病	2					1		1
		レジオネラ症	1		1					
五類全数	11	急性弛緩性麻痺	1					1		
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1						1	
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		侵襲性肺炎球菌感染症	1			1				
		百日咳	6		2	1				3
		風しん	1					1		

注) 西部 … 大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東 … 竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部 … 三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部 … 三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

## 定点・全数把握疾患週報【広島市】(第49週 12/3～12/9)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

## 1. 風しん

1件の報告があり、今年の累計は15件となりました。  
妊娠初期の女性が風しんに感染すると、赤ちゃんが先天性風しん症候群(難聴、白内障、心疾患等)を発症する可能性があるため、特に注意が必要です。

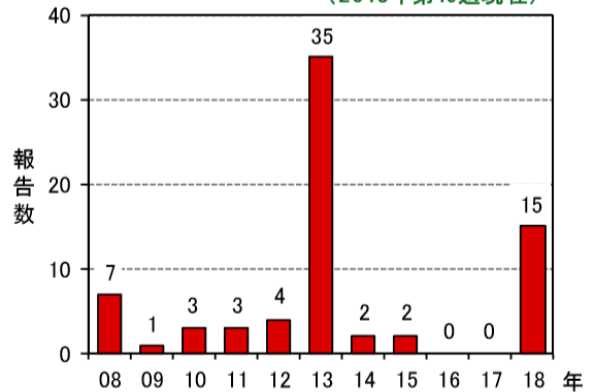
風しんはワクチン接種で予防可能な感染症ですが、妊娠中の女性は接種できません。妊婦への感染を防止するため、過去に風しんにかかったことがある、予防接種を受けたことがある又は風しんに対する抗体が陽性であると確認できている方以外の方は、予防接種を受けましょう。

## 2. インフルエンザ

定点医療機関から47人(定点当たり1.27人)の報告がありました。

## 風しんの年間報告数の推移

(2018年第49週現在)



## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
フィルン	インフルエンザ	47	1.27	1.89			小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.72		
	咽頭結膜熱	5	0.21	0.53				RSウイルス感染症	17	0.71	0.85		
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	90	3.75	2.79			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.08		
	感染性胃腸炎	202	8.42	11.57				流行性角結膜炎	6	0.75	0.68		
	水痘	11	0.46	0.79				細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	4	0.17	0.46			基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.03		
	伝染性紅斑	4	0.17	0.29				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.34		
	突発性発しん	6	0.25	0.33				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	9	0.38	0.07				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14			

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

## ■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	130	女性(40歳代)、男性(60歳代)、女性(70歳代)
4	つつが虫病	1	9	男性(60歳代)
5	急性弛緩性麻痺	1	2	男性(10歳未満)
5	後天性免疫不全症候群	1	9	男性(30歳代)・感染者
5	風しん	1	15	男性(40歳代)

## ■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 眼脂	32	男	2018/09/21	結膜擦過物	アデノウイルス37型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜充血 眼脂	63	女	2018/09/22	結膜擦過物	アデノウイルス37型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載